

1. 件名：東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請に係る面談
2. 日時：令和2年11月26日(木)13時30分～15時45分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野企画調査官、田中主任安全審査官、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、
加藤原子力規制専門員、佐々木技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部 本部長代理

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 主査

再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他12名

5. 要旨

○原子力機構から、資料に基づき東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請について説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

(資料1について)

- ・訓練の実施は、事故対処手順等の確実性を確認する目的を踏まえ、必要に応じて机上訓練も取り入れながら、スケジュールありきではなく着実に進めること。
- ・事故対処に従事する要員については、事故対処を確実に実施する観点から、いかなる状況においても手順を遂行できるよう、事故対処手順の理解度により実作業を行うことのできる要員が限定されるなどの偏りが生じないように配慮すること。

(資料2について)

- ・有毒ガスの発生源は、今後廃止措置を進めるに当たって新たに使用することが想定される化学物質についても考慮すること。

(資料5について)

- ・硝酸根分解装置の実規模スケールでの槽内状態の確認のため流体解析コードを用いたシミュレーションを実施する際は、装置の特徴（槽内で発生する化学反応等）を考慮した上での解析コードの適用性について丁寧に説明すること。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1：事故対処の有効性評価について

資料2：再処理施設の有毒ガス影響評価に係る発生源の調査について

資料3：分離精製工場（MP）等の津波防護に関する詳細調査の状況

資料4：再処理施設における代表漂流物の妥当性の検証について

資料5：フルモックアップ試験要否の検討状況について

資料6：保安規定変更（補正）について

資料7：東海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール（案）について